

ひきこもり支援の現況について

I 対象者数について

板橋区のひきこもり状態にある方については、令和4年度の「板橋区生活状況に関する調査」により、約2,967人と推計している。

無作為抽出調査（標本調査） 調査対象：15～64歳の区内在住者5,000名

調査結果：ひきこもり出現率0.79% 板橋区の広義のひきこもり群推計数 約2,967人

II 取組と成果について

令和5年度より、ひきこもりの状態にある方及びその家族等に対する相談・支援を行うことにより、ひきこもり本人の自立（日常生活自立、社会生活自立及び就労自立）、社会参加及び自己肯定感の回復を促進していくため、下記事業を開始した。

1 ひきこもり相談窓口（令和5年7月～開設）

開設 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:00

場所 区立グリーンホール4階（いたばし暮らしのサポートセンター板橋本部併設）

対象 区在住のひきこもりの状態にあるご本人とその家族等

体制 支援コーディネーター 令和5年度「2名」、令和6年度から「3名」に増員。

方法 電話、来所、オンライン相談

※ 必要に応じ、アウトリーチ（家庭訪問、同行支援）

実績

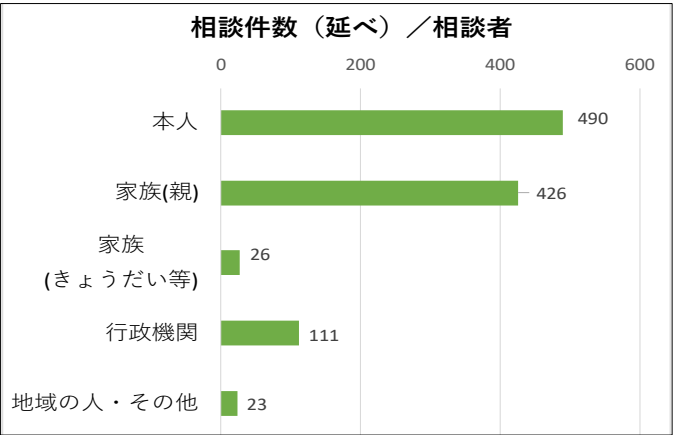
（1）相談件数延べ 令和5年度 計1,076件（月平均119件）
令和6年4～9月 計1,003件（月平均167件）

月別相談件数

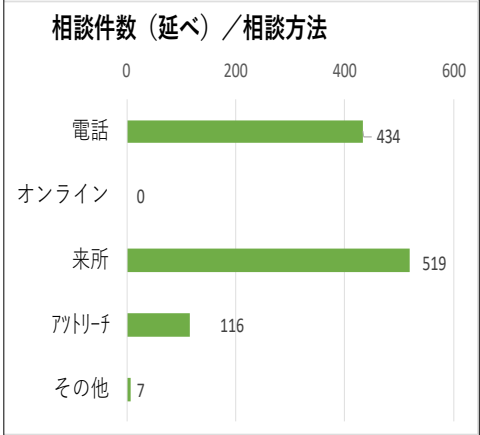
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R5				104	105	97	122	117	93	131	132	175	1,076
R6	154	183	154	202	153	157							1,003

【令和5年度 内訳】

① 相談者種別



② 相談方法別



(2) 本人及び家族の初回相談内容（複数項目回答可）

令和6年9月末時点

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	年齢不明	計	割合
生きづらさ	19	20	14	12	12	1	2	80	12.1%
健康（こころ・からだ）	12	18	15	10	11	1	2	69	10.5%
家族関係	13	15	10	16	10	1	2	67	10.2%
就労（仕事・就職）	8	22	17	15	13	2	1	78	11.8%
生活の見直し	17	15	9	14	12	1	0	68	10.3%
性格や特性	17	17	11	11	11	1	1	69	10.5%
孤独や孤立	17	18	13	15	13	1	2	79	12.0%
対人関係	18	20	8	14	13	1	1	75	11.4%
収入・生活費	4	17	12	13	13	2	1	62	9.4%
その他	3	1	0	3	3	2	0	12	1.8%
計	128	163	109	123	111	13	12	659	100%

2 ひきこもり本人の居場所づくり 居場所「ひだまりうむ」

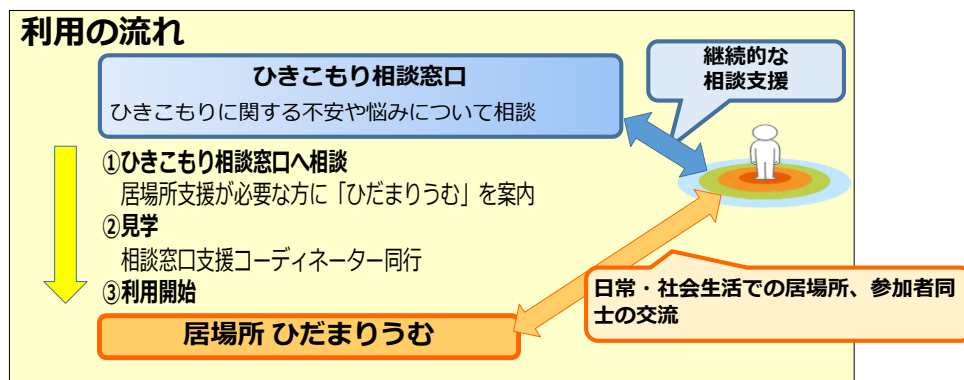
ひきこもりの状態にある本人が、居住する家以外で安心して過ごすことができる場所として、また、居場所に集まる者同士の交流やプログラム・体験活動を通じ、自己肯定感を高め、社会とつながる中間・過渡的な場としての居場所づくりを行う。

開設 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:30～16:00（昼休 12:00～13:00）

対象 板橋区ひきこもり相談窓口に相談している15歳以上の方（義務教育修了）

体制 居場所支援員 1名

内容 フリータイム（PC利用）と各種プログラム（茶話会、簡単な工作や運動、農業体験など）



実績

(1) 支援対象者実人数 令和5年度末時点 13人

令和6年9月末時点 20人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5	1	1	2	3	4	4	5	9	10	10	11	13
R6	15	18	18	19	19	20						

(2) 利用延べ人数 令和5年度 計216人

(内訳) フリータイム 128人・各種プログラム 88人

3 ひきこもり支援に関する講演会

ひきこもりに関する理解を深め、ひきこもりに悩む方への支援・社会的資源を学び・共有していくことで、区民のひきこもりへの関心を高め、社会全体でひきこもりを「孤立させない」という機運の醸成につなげていくための区民向け講演会を開催する。

対象 区在住・在学・在勤者

実績

令和5年度	日時	9月10日（日）	1月13日（土）	3月3日（日）
	会場	グリーンホール 504 会議室	グリーンホール 601 会議室	グリーンホール 504 会議室
	内容	① 講演「8050 問題を考える」 ② ひきこもり経験者の発表 ③ 個別相談会：多職種相談員（公認心理士・保健師・ピアサポーター等）がチームで相談受付 参加6組	講演「ひきこもり状況での家族構造と社会的自立に必要なこと」	講演「ひきこもることの生き方を理解し、関わり方について考える～居場所支援の事例を交えて～」
	参加者数	27 人	18 人	16 人
令和6年度	日時	6月2日（日）		9月23日（月・祝）
	会場	グリーンホール 601 会議室		グリーンホール 601 会議室
	内容	① 講演「8050 問題と親亡き後「今」と「この先」のために大切な3つのこと」 ② OSDの専門家（ファイナンシャルプランナー・社会労務士等）による相談受付 ・個別相談会 参加7組 ・親グループ相談会 参加3組		① 講演「8050 問題 家族や支援のかかわり方と求められる居場所づくり」 ② ひきこもり経験者の発表 ③ 個別相談会：多職種相談員（公認心理士・保健師・ピアサポーター等）がチームで相談受付 参加9組
	参加者数	30 人		34 人

Ⅲ 令和6年度からの新たな取り組み 社会参加推進事業（事業開始 令和6年9月～）

ひきこもり本人の居場所づくりから、社会参加、就労準備及び就労までの支援を一体的に行う「社会参加推進事業」を開始した。

1 新事業所「あい・リンク・プレイス」

(1) 住 所 板橋区成増1-28-14 小倉ビル 4階・5階

(2) 利用開始 令和6年9月2日（月）から

(3) 事業内容

① ひきこもり本人の居場所づくり

場所：【5階】居場所「ひだまりうむ」

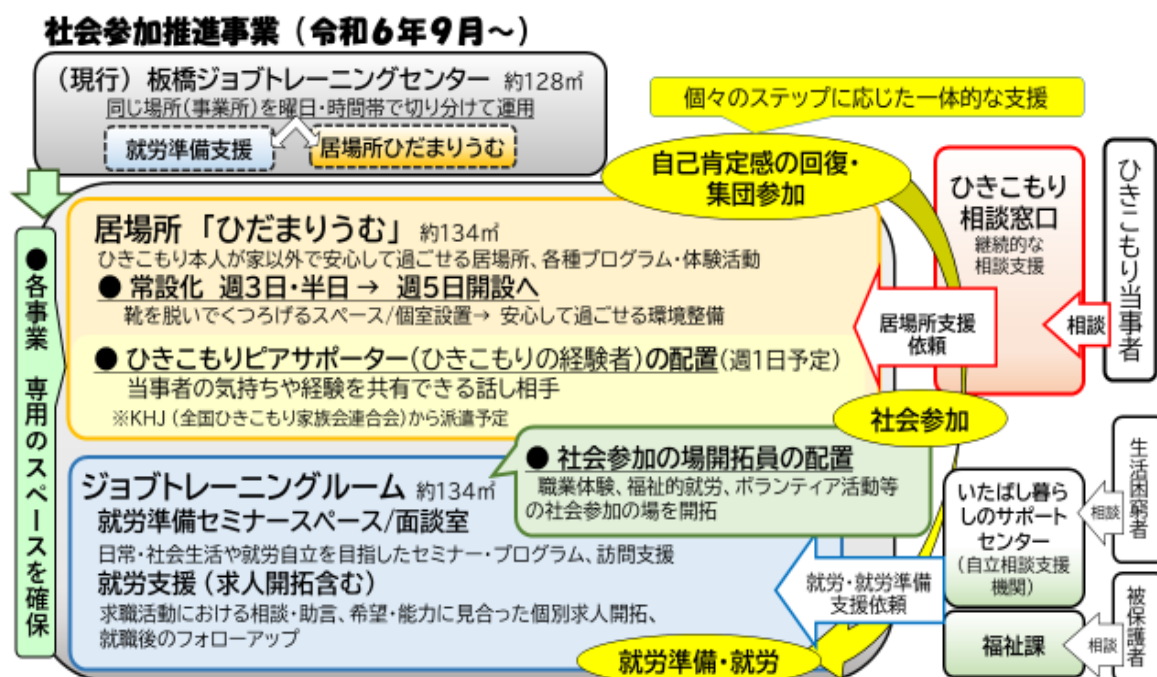
対象：板橋区ひきこもり相談窓口に相談しているひきこもり状態にある本人

② 就労準備支援・就労支援

場所：【4階】ジョブトレーニングルーム

対象：生活困窮者（いたばし暮らしのサポートセンター）・生活保護受給者（福祉課）

【業務フロー図】



2 ひきこもり支援拡充内容

（1）居場所「ひだまりうむ」の常設化（受入体制の拡充）

週3日（半日）開設から週5日（9：30～16：00）に常設化し、安心して過ごせる環境の整備と、対人交流や社会参加のための各種プログラム・体験活動の充実を図る。

（2）ひきこもりピアサポーターの配置

居場所「ひだまりうむ」に、ひきこもりご本人と同じ視点で会話や相談ができる相手として、「ひきこもりピアサポーター」を週1日（月曜日）配置する。

ひきこもりピアサポーターは、現在ひきこもり家族会で活動しているひきこもりの経験者で、かつ、ピアサポートの実践経験を有する者で、ひきこもり家族会から派遣を受けている。

（3）ひきこもり求人・社会参加開拓員の配置

ひきこもり等で就労経験が少ない又は全くないなど、就労に困難を抱える方を多様な社会参加につなげるため、一般雇用に限定しない求人、就労体験及びボランティア等の社会参加の場の開拓を行う。